



いっぺいといっぱく

市長のまちづくりにかける想いを市長の語り口でお伝えます。
市HP「によぜがもん」もぜひご覧ください。

Vol.88 ホテル

東野圭吾氏の小説「マスカレード・ホテル」を読みました。映画にもなったので、ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが。連続殺人事件の次の殺人現場になるという予告を受けた高級ホテル。犯行を未然に防ぐため、警察捜査員がフロント係に扮して潜入し、次々とチェックインしてくる宿泊客に目を光らせます。お客様を疑いの目で見ると、お客様には絶対に「NO」と言わないことを信条とするフロント係との掛け合いが面白くて、一気に読んでしまいました。

この小説を読んだとき、私は、今の便利で快適な都市での暮らしは、まるで高級ホテルに泊まっているようなものだと思いました。

ホテルでは、隣の部屋にどんな人が泊まっているかわかりません。困ったこと、分からないことは、フロントに電話すれば対応してくれます。都市での暮らしでも、隣にどんな人が住んでいるか、知らなくても困らない人が増えています。その方が、かえて暮らしやすいと感じている人もいます。そんな都市での暮らしは、「暮らしている」というより、「泊まっている」という表現のほうが当てはまるような気がします。

それでも平時では、困ることは少ないのかもしれませんが。でも、大災害が起きたときはどうでしょうか？ ホテルに泊まっているときに被災すれば、従業員がお客様に対して避難指示や食料の配布などをしてくれます。一方で地域では、避難所を開設・運営するにしても、市職員や学校教職員だけでなく、住民の皆さんが、助け合って必要な作業を分担しなければなりません。お客様ではいられません。

「地域で暮らす」ということは、近所づきあいなど、とても面倒なことです。しかし、面倒であっても、「お互いさま」といわれる支え合いがあったり、お互いをちょっと気に掛けたりすることがあることが、災害時だけでなく、普段もより安心して暮らし続けられることができると私は思います。

多くの方にとって、今の長久手での暮らしは、便利で快適だと思います。しかし、人口が減少し、高齢化が進むこれからの時代は、何もかも行政にお任せし、お客様の状態でいられる時代ではありません。一人ひとりが、自分が住む地域をより住みよい地域にしていく「住民」になることが求められます。

縁あって、私たちは、この長久手市で暮らしています。子ども達、孫達に対して、「私は長久手で暮らしている」と胸をはって言えるまちを、皆さんと一緒につくっていききたいのです。

ふれあい つながり みんなが楽しむまちづくり
こんにちは！西小学校区まちづくり協議会 検索 です。

総会 書面議決の結果

5月上旬に西小学校区内の約4310世帯に、広報誌「みんなの西まち」にて書面議決のご案内をいたしました。集計した結果、296通の議決書の提出があり、第1号～第5号の各議案について、いずれも賛成多数でご承認いただきました。ご協力ありがとうございました。票数、ご意見への回答など詳細は、協議会ホームページと共生ステーションで報告します。今後とも協議会の活動にご協力をお願いいたします。

☎0561-64-5331 西小学校区共生ステーション
nishi.no.machikyo@gmail.com



市が洞小学校 イメージキャラクター
小学校区まちづくり協議会

<https://ichigahora.jimdofree.com/> (協議会HP)

■書面表決で多数の賛成をいただきました。
今年度も総会の開催に代わり書面表決を実施したところ、多数の賛成をいただき承認されました。
ありがとうございました。
○議案配布世帯数 5,004世帯
○有効回答人数 946名
○賛成比率 4議案とも97.9%～98.0%
(詳細は、本会HPをご参照ください。)
表決の内容に基づいて、今年度の活動を進めてさせていただきます。
なお、ご意見をいただいた皆さま方との「意見交換会」は、7月4日(日)を予定しています。該当者には別途ご連絡しますのでよろしくお願いいたします。

長久手市地域見守り安心ほっとライン

0561-63-5556

24時間
365日受付

ご近所で「いつもと違う」と気づいたときはお電話ください